

2023 年の世界の生乳生産量を 1.3%増、乳製品貿易量を 1.0%減に修正 FAO「食料アウトルック」2023 年 11 月号より

国連食糧農業機関(FAO)は、世界の農産物需給などの概況を見通す「食料アウトルック(Food Outlook)」報告書を毎年2回公表している。11月10日に公表された最新報告では、2023年の世界の生乳生産量を、前年比1.3%増の9億5000万トンとなると予測し、前回6月の報告から上方修正した。生乳生産量の増加は、アジアや南米などで個体乳量と乳牛頭数が引き続き増加していることによる。一方、世界の乳製品貿易量は、2023年には前年から1.0%減少の約8400万トン(生乳換算)となり、約20年ぶりの減少となった前年に続き減少を予測し、6月の報告から下方修正した。これは中国での国内生産の増加と輸入乳製品の在庫増加などを背景にしたアジアにおける輸入減少が主な要因となっている。一方、世界的な輸入需要の減少と価格の下落により、輸出国の一部からの出荷が減少する可能性があるとしている。

主要な食料の生産の見通しは良好であるものの、地球温暖化による異常気象、ウクライナ戦争や地域紛争による地政学的緊張の高まり、急激な政策変更は、世界の食料生産システムにリスクをもたらし、需給バランスの僅かな変化によって、貿易と世界の食料安全保障の見通しに悪影響が及ぶ可能性があるとしている。

以下では、報告書の中から、乳・乳製品の市場動向とニュースリリースの概要を紹介する。

【食料アウトルック】(*1)

乳・乳製品の市場動向

2023年の世界の生乳生産量は、9億5000万トンと予測され、インドと中国を中心とするアジアでの生産拡大が見込まれるため、過去20年で

最も低い成長であった前年に比べて1.3%増加となる見込みである(表1)。2023年に予想される世界の生乳生産量の増加の大部分は、(アジアや南米における)個体乳量の向上と乳牛頭数の継続的な増加によるものであり、特に欧州と

表1. 世界の乳・乳製品市場の概観(*1)

| 世界総量 | 2021年 | 2022年 (推定) | 2023年 (予測) | | 増減(%): 2023年/ 2022年 |
|---|--------------|---------------|------------------------|-------|--|
| | | | 6月 | 11月 | |
| 総生乳生産量(百万t) | 932.0 | 937.7 | 944.0 | 949.9 | 1.3 |
| 総貿易量(生乳換算百万t) ¹ | 88.6 | 84.9 | 85.0 | 84.0 | -1.0 |
| 1人当たり消費量 | | | | | |
| 世界(kg/年) | 117.9 | 117.8 | 117.4 | 118.2 | 0.4 |
| 貿易のシェア(%) | 9.5 | 9.1 | 9.0 | 8.8 | -3.9 |
| FAO 乳製品価格指数 (2014~2016年=100) | 2021年 | 2022年 | 2023年 1~10月 | | 増減(%): 2023年1 ~10月/ 2022年1 ~10月 |
| | 119 | 142 | 119.5 | | -16.6 |

北米における経営の利幅圧迫による乳牛の屠殺数の増加を補っている。南米では、乳牛頭数の増加、個体乳量の向上、資材コストの低下により、特にブラジルで生産量がわずかに拡大すると予測される。オセアニアでは、資材コストの上昇と乳製品価格の下落が経営の利幅を圧迫しているにもかかわらず、天候に恵まれたため、生産量は緩やかに増加すると予測される。対照的に、アフリカでは飼料の確保が制限され、牧

草地の状態が悪く、紛争が作業を中断させることもあるため、生産量は減少すると予測される。

2023年の世界の乳製品貿易は、8400万トン（生乳換算）で、約20年ぶりの減少となった前年からさらに1.0%減少すると予測される。これは中国での国内生産の増加と輸入乳製品の在庫増加を中心とするアジアの輸入が減少することが主な要因である。フィリピン、インドネシア、マレーシアを含む他の有力な乳製品輸入国で

表 2. 乳製品の国際価格および FAO 乳製品価格指数(*1)

| 期間 | 国際価格 (米ドル/t) | | | | FAO 乳製品価格 指数 (2014~2016 年=100) |
|------------------|------------------|-------------------|------------------|--------------------------|--------------------------------------|
| | バター ¹ | 脱脂粉乳 ² | 全粉乳 ³ | チェダー チーズ ⁴ | |
| 年次(1~12月) | | | | | |
| 2012年 | 3 740 | 3 063 | 3 336 | 3 877 | 112 |
| 2013年 | 4 784 | 4 148 | 4 730 | 4 563 | 141 |
| 2014年 | 4 278 | 3 606 | 3 854 | 4 542 | 130 |
| 2015年 | 3 306 | 2 089 | 2 537 | 3 076 | 87 |
| 2016年 | 3 473 | 1 986 | 2 481 | 2 807 | 83 |
| 2017年 | 5 641 | 2 011 | 3 163 | 3 664 | 108 |
| 2018年 | 5 587 | 1 834 | 3 060 | 3 736 | 107 |
| 2019年 | 4 443 | 2 440 | 3 186 | 3 435 | 103 |
| 2020年 | 3 844 | 2 606 | 3 041 | 3 506 | 102 |
| 2021年 | 4 995 | 3 181 | 3 855 | 3 816 | 119 |
| 2022年 | 6 608 | 3 863 | 4 253 | 4 535 | 142 |
| 月次 | | | | | |
| 2022年10月 | 6 268 | 3 464 | 3 893 | 4 706 | 139 |
| 2022年11月 | 6 079 | 3 151 | 3 750 | 4 803 | 137 |
| 2022年12月 | 5 740 | 3 132 | 3 714 | 4 963 | 138 |
| 2023年1月 | 5 290 | 2 915 | 3 507 | 4 986 | 135 |
| 2023年2月 | 4 968 | 2 781 | 3 424 | 4 809 | 129 |
| 2023年3月 | 5 021 | 2 737 | 3 410 | 4 652 | 127 |
| 2023年4月 | 5 019 | 2 672 | 3 281 | 4 455 | 123 |
| 2023年5月 | 5 058 | 2 731 | 3 423 | 4 057 | 118 |
| 2023年6月 | 5 167 | 2 740 | 3 402 | 3 969 | 117 |
| 2023年7月 | 5 062 | 2 606 | 3 418 | 3 985 | 116 |
| 2023年8月 | 4 825 | 2 466 | 3 090 | 3 918 | 111 |
| 2023年9月 | 4 736 | 2 432 | 2 995 | 3 842 | 109 |
| 2023年10月 | 4 921 | 2 632 | 3 217 | 3 789 | 111 |

¹ バター: 乳脂肪 82%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

² 脱脂粉乳: 乳脂肪 1.25%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

³ 全脂粉乳: 乳脂肪 26%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

⁴ チェダーチーズ: 最大水分 39%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

注: FAO 乳製品価格指数は、国際的に取引されている EU とオセアニアの代表的な乳製品の貿易加重平均から算出される。

も、主に外食産業の売上高の増加が当初の予測を下回ることや通貨安のため、輸入減少が見込まれる。しかし、ブラジル、メキシコ、アルジェリア、サウジアラビアなどの国では、乳製品の国際価格低下、国内供給量の不足、外食産業の活発化によって、乳製品購入量の増加が予測される。一方、世界的な輸入需要の減少の可能性は、国際価格の低下につながることから、米国、オーストラリア、アルゼンチンなどいくつかの輸出国からの出荷量が減少する可能性がある。

FAO 乳製品価格指数は、2023 年 1 月から 9 月にかけて下落した(表 2)。これは主に輸入国に十分な在庫がある中、スポットおよび短期的な出荷への輸入需要が乏しかったことに起因するものである。この時期は、特に 2023/24 年シーズンのこれまでのニュージーランドの輸出量が豊富であったことと、特に欧州連合(EU)などの輸出国における内需が限られていたことが重なった。しかしながら、2023 年 10 月には需要の急増と、西欧からの供給の逼迫、エルニーニョ現象の影響によるオセアニアからの供給への懸念を反映して、世界の乳製品価格は反発した。

【ニュースリリース】(*2)

一部の主要食料の国際貿易は減少と予測。 2023 年の世界の食料輸入額は過去最高を更新するものの、最も脆弱な国々による輸入減少を懸念

FAO の最新の予測では、ほとんどの主要な食料の生産見通しは良好である。しかし、世界の食料生産システムは、異常気象、地政学的緊張、政策変更などのリスクに晒されており、需給バランスの僅かな変化によって、食料の国際貿易と世界の食料安全保障の見通しを悪化させる可能性がある。

粗粒穀物とコメの貿易量は 2023/24 年に減少すると予測されているが、トウモロコシの世界

生産量はブラジルと米国での作付け増加により大幅に増加すると予測されている。

植物油の世界貿易も、世界的な生産と消費の拡大が予測される一方で、小幅な減少が予測される。

砂糖、乳製品、食肉、水産物の貿易量も来年は減少する見込みである。同報告書は、5 月中旬以降の食料セクターにおける主要な政策展開の一覧(*3)も提供している。

世界の食料輸入額

今回の報告書によると、世界の食料輸入額は 2023 年に 2 兆米ドルとなり、前年の過去最高記録を 353 億米ドル、1.8%増加し、過去最高を更新すると予測される。高所得国(*4)および高所得国(*4)の果物及び野菜、飲料、砂糖輸入の増加がこの増加を主導すると予測される。対照的に、低所得国(*4)は食料輸入総額が 11%縮小すると予測される。

果物及び野菜、砂糖の国際相場が高騰する一方、動物油と植物油の国際相場はこの 1 年間で下落した。通常は、世界価格の動向は輸入量に影響を与えるが、コーヒー、紅茶、ココア、香辛料のような価格帯の高い産物や加工品はともかく、世界の食料輸入額への影響は、価格の変化よりも数量の変化の方が強いと予測される。

後発開発途上国(LDCs)、食料純輸入開発途上国(NFIDCs)およびサハラ以南のアフリカ諸国の食料輸入額は、輸入量が減少したため縮小すると予測されるが、これは通貨安から債務の増加、運賃の高騰に至るまで、追加的な要因が国際市場へのアクセスを難しくしていることを示唆している。

本報告書はまた、NFIDCs の国内価格の動向に関する情報を提供し、FAO の世界食料消費価格指数(世界平均のカロリー摂取量とタンパ

ク質摂取量から価格の変化を評価した指数)の動向を分析している。

FAO「食料アウトルック」とは

年に 2 回発行され、穀物、植物油、砂糖、肉、乳製品、魚など、世界の主要な食料品の市場需給の動向を FAO が検証している。また、食料品の先物市場や輸送コストの動向についても言及している。

参考資料:

(*1)<https://www.fao.org/3/cc8589en/cc8589en.pdf> Food Outlook. November 2023. Food and Agriculture Organization of the United Nations.

(*2)<https://www.fao.org/newsroom/detail/fao-food-outlook-predicts-declining-international-trade-in-some-basic-foodstuffs/en> FAO Food Outlook predicts declining international trade in some basic foodstuffs

(*3) FAO「食料アウトルック」2023 年 11 月号 (*1)は、カナダ政府が 9 月 23 日に乳製品への補助金として、国内酪農セクターの競争力を高め、新たな市場動向に適応し、国内の無脂肪固形分(SNF)の供給を管理することを目的として、今後 10 年間で最大 3 億 3300 万カナダドルの新たな酪農イノベーション・投資基金を発表したことや、EU が 5 月 23 日に乳製品の貿易協定としてウクライナの経済を支援するため、2023 年 6 月 6 日から 2024 年 6 月 31 日まで、ウクライナから EU への輸出に対するすべての関税、割当、貿易規制措置の停止を更新したこと、また EU が 7 月 23 日に乳製品の貿易協定としてニュージーランドと自由貿易協定(FTA)に署名し、発効日は 2024 年初頭

を予定していることと、この協定は、バター、チーズ、粉乳など様々な乳製品の関税割当の引き上げまたは割当内関税率の引き下げにより、乳製品貿易を段階的に自由化することを定めていることなどを、主な政策展開の一覧に紹介している。

(*4)

<https://blogs.worldbank.org/ja/voices/new-world-bank-group-country-classifications-income-level-fy24> (前年度の 1 人あたり国民総所得(GNI)に基づく世界の国の低所得国、低中所得国、高中所得国、高所得国の 4 つの所得グループへの世界銀行グループによる分類)

(資料閲覧:2023 年 11 月 11 日)

(Jミルク 国際グループ)